

「友達とは何か」

3年 M.H

私は今回感話のテーマが、自分の居場所を見つめ直すということで、本当の友達とは何か考えてみました。

まず、友達とは何かを知るためにインターネットで表面上の友達は何かを検索してみました。そうすると、上辺だけの友達と本当に仲が良い友達の LINE のトークを比較した画像があり、それを見た私は青ざめました。その画像には上辺だけの友達のところに、“大親友”や“ずっ友”など単語が並べてあったからです。この画像は一個人の意見であり「親友」などの言葉を使ったからといってその人とは表面上の友達であると断言はできません。しかし、みなさんに思い当たることがあるのではないのでしょうか。現に私には思い当たる節がありません。

その話を具体的にみなさんにお伝えすると私は小学六年生の二学期のとき、ある友達 Aさんと Bさんの三人で一緒にいました。しかしある時 Aさんと Bさんがささいなことをきっかけに喧嘩して遂には絶交してしまいました。まだ未熟な私にはその喧嘩を止めることが出来ず、今となっては後悔しています。その喧嘩を元に Aさんがいつも以上に優しくなり、私に、大親友だねなどと言ってきました。私はその言葉を信じてしまいました。それから二人で一緒にいたものの、私は友達関係が広く浅くというような人なので、Aさんとだけ一緒にいたわけではありませんでした。一方、Aさんは狭く深くを目指していたようで、私がAさん以外の人と仲良くしているのを見ると怒ってしまうような人でした。それに我慢し切れなかった私はAさんと喧嘩し、結果的に卒業式の日には互い別々の子たちと仲良くなっていました。このことから、「大親友」などと簡単な言葉でしばりつけ合わないと保てないような関係はすぐ壊れてしまうのだと学びました。私はインターネットで調べた結果と私の体験談から述べると、本当の友達というのは、自分が気をそこまで使う必要がなく、自分が言いたいように言い合える仲だと思えます。

話は変わって、みなさんに紹介したい人がいます。その人を Mさんとします。その Mさんは知り合って間もないのですが、お互いのことを理解しているとは思っています。その Mさんは相談したら的確なことを言うてくれて、本当に頼りにしています。私になぜ Mさんをみなさんに紹介したかったかというと、Mさんのような友達を持てた私は恵まれているなど再確認することができたからです。Mさんの他にも私を支えてくれている友達がありますが、そんな友達に囲まれてとても幸せです。上辺だけじゃない友達ができるのには、自分の性格をきちんと理解しておく必要があります。私は人間関係で失敗したことがあります。その時自分の性格を理解しきれていない自分の愚かさ、友達のことを理解したつもりでいて、実際は全く理解できていなかったという事実をずっと後悔しつづけていました。なので、他人のことをすべて理解するのは難しいと思いますが、一番分かっているはずの自分自身の性格を一度整理して理解する機会を設けてはどうでしょうか。

今回の感話で自分の居場所を見つめ直してみて、友達付き合いにおいて大切なことを初心に戻って思い出すことができました。これからも友達のことを大切にしていけます。